

CNSニュースレター

～千葉の地から、千葉のチカラ～

2017 秋
vol. 17



どこまでも広がる青い空と海が舞台。仲間と一緒に冒険へ出発！忘れられない、ぼくらの夏。(南房総市大房岬自然公園内)

も く じ

□一灯照隅	…2	□ろくすけ日和	…10
□指定管理の現場から	…3	「平群で川あそび」	
□6～8月の現場レポート	…4	□千葉シニア自然大学	
・主催事業		「南房総・平久里のライトトラップ昆虫採集記」	
・ネットワーク・受託事業		□みんなのおおきな食卓	…11
・指定管理施設の主催事業		□会員校・指定管理施設紹介	…12
□こんなことにチャレンジしています！	…7	□スタッフのつぶやき	
□10月～1月 CNS ネットワークイベント情報	…8		

一灯照隅

理事長 飯田 洋

例年のことですが、子どもが夏休みに入ると同時に、千葉自然学校・ヤックス自然学校ともに一年の中で一番忙しい季節を迎え、千葉の事務所は数名の人間が、来客・電話などの対応に追われます。

夏休みが終り子どもの通学が始まるようになると、現場に出ていた職員がそれぞれ事務所に戻って来ます。

そして、朝晩の空気が涼しく秋の訪れを感じる頃になると、君津亀山少年自然の家や大房岬自然の家などの施設では、県内外の小学生などの自然体験のための宿泊研修が始まり、受入・体験指導などに忙殺されるようになります。

一方、千葉事務所では、自然体験の秋季プログラムや国・県・市町・企業からの受託事業が本格的に動き出すようになり、プログラム参加者の集客や現場活動などに再び多忙な季節を迎えます。

千葉自然学校の経営面からは、秋のこの時期から冬にかけてが勝負の季節になります。

そのためには、千葉自然学校の活動を多くの方々に感心を持って頂けるよう、周知の努力をしなければならないと考えています。

この秋は、千葉自然学校が認定 NPO 法人へ改組するための認定審査が待ち受けています。

平成 27 年 4 月に仮認定 NPO 法人に認証されてから、早いもので 2 年が経ちました。

この間、認定 NPO 法人への条件をクリアするために、多くの方のご協力を頂きました。

お蔭で認定申請が出来る状況となりましたが、千葉自然学校もいよいよ節目の時期を迎えたと考えています。

千葉自然学校の活動が、少しでも世の中の役に立ちますように願っています。



「一灯照隅」この後に「万灯照国」と続きます。これは、1つの灯りは隅しか照らせないが、万の灯りは国全体を照らすことができる。転じて、一人一人が自分の役割を懸命に果たすことが、組織全体にとって最も貴重であるという意味の最澄の言葉です。

指定管理の現場から

千葉自然学校は、現在県内にある3ヶ所の施設を指定管理者として千葉県、南房総市からそれぞれ委託を受け、管理・運営を行っています。このコーナーでは、それぞれの施設での取り組みや想いを皆様にお届けしていきます。

南房総市大房岬自然の家 所長 神保清司

この夏も、ここ数年常態化してきた突然の雷雨や長雨には、だいぶ悩まされました。そんな中、ある学校の校長先生にこんな話を伺いました。

卒業式前の6年生を送る会で発表された“思い出ランキング第1位”が、大房岬で突然の土砂降りに翻弄されたカレー作りだったそうです。

カレーの野菜を煮込もうと火にかけた途端の、突然の大雨でした。私も子どもを誘導した後に、先生方と一緒にリヤカーにすべての鍋と飯盒を乗せて避難したのを思い出しました。

子どもは、建物の軒下に急ごしらえしたかまどで、再度作り直したカレーライスをやいワイ言いながら食べました。

用意された成功体験ばかりを積むよりも、時には突然訪れる困難を克服するという負荷を与えてあげませんか？

雨が降ったときこそ、外で、知恵を絞って、苦勞して火を起こしてカレーを作りませんか？

我々も施設も、そのお手伝いのために存在するといっても過言ではありません。



千葉県立君津亀山少年自然の家 所長 庄司達哉

先日自宅でテレビを見ていたら、遠泳に挑戦する小学生のドキュメント番組が放映されていました。桜島から鹿児島市の磯海水浴場まで約4.2kmを泳いで渡る錦江湾横断遠泳は今年で52年も続く伝統行事となっているそうです。遠泳に挑戦できるのは4年生以上で、希望する子どもたちは5月頃から学校のプールで猛特訓をします。途中、数度の検定に合格しないと参加することは出来ません。

海という環境で4.2kmを一人の力で泳がなくてはならないため、指導する側にも力が入ります。多少厳しすぎるのでは…と思うくらい、熱の入った指導を行います。海に出たら甘えは許されません。それを自覚させるためにも、叱咤激励は必要なことだと感じました。



また、初挑戦となる4年生は、経験者の5年生や6年生、またOBの子どもたちがサポートをするような体制が出来ています。

安易に「危ないからやめる」という選択をすることは子どもたちの体験の機会を奪うことにつながります。

遠泳というリスクの非常に高い内容ですが、今後も安全に事故なく継続されていくことを心から願います。

※写真 鹿児島県桜島

千葉県立大房岬自然公園 公園長 山口亮介

この夏、たくさんの方々が公園に遊びに来ていただきました。私もできるだけいろいろな方とお話をするようにしていたのですが、公園への意見は本当に様々。その中で、「遊ぶものが何もない」「アスレチックとか遊具は無いの?」といった声もあれば、「一日いても飽きない」「来るたびに発見がある」なんて絶賛していただく事もあります。

ここは自然公園。遊具は何もありません。森と海があって、たくさんの動物と植物が生きただけです。それを退屈に感じる方もいれば、魅力を感じる方もいる、という事をこの夏痛感しました。

遊び道具がなくても、この公園は本当に遊べるツールが盛りだくさんなのです。退屈に感じてしまう方に、いかにこの公園の魅力を感じてもらおうか、というのが次の公園の使命のような気がします。もっと外遊びが得意な人が増えたらきっと楽しい世の中になると思います。



⑥⑦⑧月の現場レポート

《主催事業》

大人(シニア)

鹿野山から秋元城址を巡る

6/3(土) 日帰り 君津市 ◆大人

◆鹿野山/秋元城址/九十九里展望公園/堀切



参加者13名で鹿野山から秋元城址を巡りました。天候にも恵まれ、出発地点である鹿野山九十九谷展望公園から房総の峰々を眺めることが出来ました。

今回で鹿野山系2回目になります。秋元城址までの道中に城への侵入を防ぐ「堀切」など地形を見ることができました。

秋元城址からは古き良き日本の田園風景を楽しみ、古道を辿り地域の歴史に触れていきました。

古道巡りから地域の歴史に思いを馳せる一日となりました。

週末・こども

捕って食べる!!

地引網とお魚クッキングキャンプ

6/10(土)~11(日) 施設泊 君津亀山少年自然の家 ◆幼児・小学生

◆地引網/お魚クッキング/さつまあげ/ちくわ



南房総市富浦漁港に威勢の良い掛け声が響きました。16名の子どもと地引のお助け隊が合わさって、魚と綱引き!「わっしょい!」「夕ご飯!」と声を合わせて引くと不思議と力もわいてきます。

捕れた魚は子どもの夕ご飯にもなるので、やる気倍増。自分でさばいて、ちくわを作りました。年中さんも1人1匹さばく体験をしました。

自分で捕ったものは美味しい。その事が、ご飯を残さず食べた子どもたちを見て、伝わったのかなと思います。

週末・こども

パティシエキッズキャンプ①

スイーツピッツア

6/24(土)~25(日) 施設泊 君津亀山少年自然の家 ◆幼児・小学生

◆カッププリン/石窯で焼くスイーツピッツア



最初はぷるぷるのプリン作りにチャレンジ!

はじめてプリンを作る子どもも多く、みんなでわくわくしながらお鍋でカップを煮上げて、かわいくデコレーションをしました。

夜には施設内を舞台に部屋の中に隠れたキーワードを探すきまめクエストを行いました。

そして、翌日は石窯で焼き上げるスイーツピザ作り。しっかりこねて、カラフルなピザや初めて見るような楽しいオリジナルピザを完成させました。

週末・こども

ワイルド釣りキャンプ

7/1(土)~2(日) 施設泊 君津亀山少年自然の家 ◆小学生

◆岸釣り/ミミス(餌)とり/亀山湖/ブラックバス



まずは、餌のミミズを自分で捕まえます。そして、釣り針に餌を付けますが、それに抵抗のある子もいました。

しかし、周りの子を見て「自分もやってみよう!」とチャレンジする姿がみられました。

釣りでは、餌を落とす場所やねらう魚の大きさなど、状況に応じて、どうすれば釣ることができるのかを考え、行動していました。

失敗しても次はこうしようと、くりかえしチャレンジする姿は、楽しみながらも真剣そのもの。

そんな頑張りの中で釣れた魚を手にする子どもは、達成感と喜びにあふれていました。

週末・こども

古民家に泊まろう!

とことん海遊びキャンプ

7/15(土)~17(日) 古民家泊 ◆小学生

◆古民家「ろくすけ」/岩井海岸/流しそうめん/たき火



海遊びをとことん楽しみたいみんなが集まりました。天気にも恵まれ、タイトル通りとことん楽しみました。

岩井海岸は遠浅で穏やかな海です。子どもは日の光でキラキラに輝く海を見ると、体も心も軽くなり、自然と笑顔があふれていきました。

古民家での共同生活は、全てが新鮮で、自分のことは自分でするという姿勢で過ごします。

困ったときはお友達と助け合って、一つ屋根の下、心を通わせあいました。

最高の夏休みのスタートになりました。

週末・こども

海チル川チルアドベンチャーキャンプ

7/31(月)~8/3(木) 施設泊 君亀、大層 ◆小学生~高校生
◆磯遊び/生きもの探し/ダイブ/ネイチャークラフト



海に川に！どのキャンプよりもアドベンチャーなキャンプでした。

海では波の自然のリズムを感じながら、思いっきり楽しみました。高い磯場からのダイブ、生き物の宝庫の磯場はあきることはありません。

川での遊びも1人1人楽しみ方が違います。岩を持ち上げ生きもの探しに没頭したり、砂利を掘って新しい川をつくったり、海、川で安全に楽しく遊べたみんなは、立派な海チルドレン、川チルドレンでした。

週末・こども

原始人キャンプ

8/4(金)~6(日) テント泊 君津亀山少年自然の家 ◆小学生
◆テント設営/野外炊飯/川遊び/たき火/流しそうめん



すっきりしない天気が続きましたが、子どもの笑顔あふれるキャンプとなりました。

川へ行けば足取り軽く、どんどん奥まで進んでいきます。夜はテントで友達と楽しくおしゃべりをしました。

野外での生活は不便なことだらけです。

自分たちの寝床はテントを張り、食事は火を起こして、みんなと協力してつくる。

そんな2泊3日を過ごした子どもは、来たときよりも、少したくましくなった様子でした。

週末・こども

あつまれ！生きもの好き！

昆虫博士にあいに行こう

8/8(火)~10(木) 施設泊 君津亀山少年自然の家 ◆幼児・小学生
◆大山千枚田/昆虫採取/図鑑作り/スイカ割り



昆虫博士ジミー・アシャーンと共にたくさんの虫たちや珍しい生き物に触れることが出来ました。

昆虫博士とフィールドに出て一緒に虫取りをする機会は、普通の博物館などではあまりできない体験です。

捕まえた生き物や昆虫を自分で調べ、まとめることで自然に対するの興味関心をはぐむことができたことでしょう。

これからもその好奇心や追究心を忘れずにいてほしいと思います。

週末・こども

とことん水遊びキッズ

8/12(土)~13(日) 施設泊 君津亀山少年自然の家 ◆幼児・小学生
◆川遊び/竹水鉄砲作り/水合戦/ウォータースライダー



初日の川遊びでは、タイヤチューブを使ってウォータースライダーで遊んだり、生き物を探したりなど、のびのびと自然とふれあいました。

竹水鉄砲では、自分だけのオリジナル水鉄砲を作り、試行錯誤しながら満足のいく作品を完成させていました。

水鉄砲合戦では、チームで一致団結し協力ながら全力で頑張っていました。子どものおもむく感性のまま思いっきり自然を満喫しました。

週末・こども

キャンプマスター

秘密基地キャンプ

8/15(土)~16(日) テント泊 君津亀山少年自然の家 ◆幼児・小学生
◆秘密基地づくり/焼きマシュマロ



秘密基地を作るための2日間。子どもにとって、やりたいことを思う存分にできることは、何にも代えがたい喜びです。

途中小雨に降られることはありましたが、子どもは班のみんなと秘密基地作りに没頭しました。

森の素材や限られた備品を工夫して、雨除けを作ったり、柔軟なアイデアで快適な空間を作っていました。

まだまだ物足りない！という子もいましたので、発想豊かな子どもは頼もしくも見えました。

週末・こども

古民家に泊まろう！

夏の里山里海大冒険キャンプ

8/17(木)~20(日) 古民家泊 ◆小学生
◆虫とり/海あそび/焚き火ナイト/流しそうめん



自分たちのペースで虫探しを楽しんだり、海遊びでは子どもの腰ぐらいの深さでも臆せず入りながら、波と一緒にゆったり楽しんでいました。

さよならパーティーでは、仲間と相談し自分たちの好きなメニューを考え、慣れない料理にも積極的にチャレンジしていました。

「古民家ろくすけ」で仲間と過ごした時間は、きっと大きくなって子どもの思い出に強く残ってくれると思います。

《ネットワーク・受託事業》



ネットワーク事業 「第1回 上総エリア事業部会」

繁忙期トップシーズンを迎える前に、上総エリアの会員校の皆さまにお集まりいただき、情報交換と安全研修を実施しました。

君津亀山少年自然の家で発生した事故状況を見ながら、いつ、どんな活動中に、どんな事故が起きているかなどを共有しました。

一番事故の多い活動は、野外炊飯やオリエンテーリングではなく、生活時間帯(自由時間・就寝・お風呂などの時間)ということに驚く参加者の方もいました。



私たちの活動は危険を伴うものが多いからこそ、事前の危険予知と対策が重要になります。
備えをしっかりと、事故0でいきましょう。(文：庄司達哉/しゅれっく)



受託事業 「いすみ市農泊・グリーンツーリズム講演会」

7月20日、いすみ市役所に約100人の参加者が集まり、講演会「いすみはおもしろい」が開催されました。この講演会は、「農泊」を取り入れた「滞在型」のグリーンツーリズムを新たに展開し、市内で行われている様々な取組の可能性をもっと広げていきたいといすみ市が主催したもので、千葉自然学校は企画・運営をお手伝いしました。



講師には、イタリアから GEN JAPAN 代表の齊藤由佳子氏、千葉大学大学院教授の大江靖雄氏を迎え、食を中心にした‘いすみらしい’グリーンツーリズムの可能性を考えるきっかけを作っていただき、後半で結農園の関谷啓太郎さん、楽働会の安藤クニさんに実際の活動についてお話しいただいたことで、広がった可能性を具体的なイメージに落とし込むことができたのではないかと思います。

終了後の懇親会はとても盛り上がり、終了予定時刻を大幅に過ぎてお開きとなりました。

今後は、勉強会や会議を実施しながらより具体的に動き出すこととなります。いすみ市の今後にぜひご注目ください！(文：佐藤玲子/かつを)



受託事業 「中山間ふるさと活性化チャレンジ事業：スタディーツアーin 富津」

高校生による「農」を活用した中山間地域活性化企画の作成と地域での挑戦を支援する取り組み「中山間ふるさと活性化チャレンジ事業」。この事業は今年で2年目を迎え、千葉自然学校は推進会議の運営や、研修・お話し会などのコーディネートに携わっています。

その一環で、中山間地域の成り立ちと現状を知る「スタディーツアー」を、8月21日に富津市で実施しました。

富津市の谷田皿引地区は、天羽城跡などの歴史的な史跡も残り、周囲には田んぼが広がる自然豊かな場所。しかし、深刻な獣害の被害や過疎が進む地域の活性について、地域の方も悩みがつかみません。



そこで、将来農業系の職業へ就職を希望する上総高校の生徒が、天羽城のハイキングや、地域の方のお話を通して感じたこと、発見したことを元に、この地域で何ができるか、アイデア出しを行いました。地域の方にとっても、改めて地域のことを話し合う機会となり、また高校生にとっても将来に活かせる貴重な体験ができたのではないかと思います。今後も中山間の現状を、現地に訪問し地域の方と交流しながら、まずは知って、それから行動に移していく。そして地域が元気になるお手伝いができればと思います。(文：石井智子/かみい)

■こんな取り組みもしています■

認定NPOへの移行

平成27年に仮認定を受けてからの2年間で、多くの皆様にご協力いただき、このたび認定NPOへの移行手続きに入ることができました。本当にありがとうございました。子どもから大人まで、たくさんの方に自然体験を、また地域の活性化に地域の方と共に取り組んで参りたいと思います。今後とも宜しくお願いいたします。

《指定管理施設の主催事業》

南房総市大房岬自然の家

「海岸線を攻める！！ コーステアリング」

南房総は自然豊かで海がとてもキレイです。そんな海を全身で体感するアウトドアアクティビティーがあります。その名も『コーステアリング』です。

聞き慣れない名前ですが、イギリス発祥のアウトドアで、道なき海岸線を、岩場を越え、海の中を歩き、泳ぎ、時には飛び込みながら突き進みます。

夏に家族向けと大人向けの2コースで計7回実施しました。どの回も盛況で参加者の皆様と共に海を満喫。飛び込みポイントでは、何度も飛び込みに挑戦する参加者もおられて、実にアクティブです。参加者の笑い声がよく響いていたのが記憶に残っています。



また、たくさんの海辺の生き物にも出会いました。海的美しさや素晴らしさを体感するのはもちろんのこと自然の力も実感できるアウトドアです。そして、南房総の美しい海を感じてもらえる南房総特有のアクティビティーだと思います。

来年は皆さんも是非お越しください。

(文：香山正幸／かやまん)

千葉県立大房岬自然公園

「はじめてシリーズ はじめてのデイキャンプ」

今年度から公園の主催事業の新シリーズとして始まった「はじめてシリーズ」。その中の「はじめてのデイキャンプ」を7月1日に実施しました。キャンプは面白そうだけど、泊まるのはハードルが高い。そんな方に日帰りでキャンプ場で遊ぶイベントです。キャンプ場の中でハンモックを吊るしたり、スラックラインを張ったり、火起こしをしてチャパティを焼いてカレーを食べたり。盛りだくさんの一日となりました。

宿泊ではなくデイキャンプに来る方達なので、やっぱりアウトドアは本当に初めて…という方が多く、火起こしも苦戦されていましたが、それでも何とか火をつけ、自分で起こした火で焼いたチャパティをおいしそうに召し上がっていました。



アウトドアは楽しむのが第一！ステップアップして宿泊するもよし。また日帰りで遊びに来るのもよし。参加者の方たちがまたキャンプ場に遊びに来てくれるのが楽しみです。

(文：山口亮介／コメ)

千葉県立君津亀山少年自然の家

「まだまだ暑いぞ水遊び♪」

9月6日(水)今年度2回目となる森っこクラブ「まだまだ暑いぞ水遊び♪」を実施しました。

参加者は13人、6組の親子の皆様にご参加いただきました。早速みんなでシャボン玉遊び。きみかめ特製のシャボン液を使って、子どもの体より大きいシャボン玉をたくさん作ることができました。自分たちで作ったシャボン玉を追いかけては触れて、消えていくのが面白かった様子で、夢中になって遊んでいました。

プールの中に水風船を約400個浮かべて、水風船合戦もしました。子どもはとても楽しかったようで、400個全部投げてびしょ濡れになりながら遊んでいました。



最後は、みんなで火を囲みながらマシュマロ焼きパーティー♪マシュマロ焼きが初めての子もいて、お母さんと一緒にこんがり焼き色が付くように協力してうまく焼くことが出来ました。

(文：工藤圭／しんちゃん)

こんなことにチャレンジしています！

「教員チームビルディング研修」

この夏、さわやかちば県民プラザ主催の教員向け講座「社会教育の手法によるチームビルディング力養成講座」を実施してきました。

社会教育で実践されているアドベンチャー教育を用いたチームづくりの手法を学ぶことで、学級経営や学校組織づくりに活かすことが目的です。当日は千葉県内の幼・小・中・高・特別支援学校教員の30名弱の先生方に参加して頂きました。

今回は、チームビルディング力を高めるための手法の1つとして「アイスブレイクゲーム」「イニシアティブゲーム」を柱に2部構成で展開していきました。

まずは、体験して頂くことが大事なのですが、体験の紹介で終わってしまっただけでは意味がありません。学校現場ではどのように実践できるか、さらに、なぜ何のためにといった活動の理念や学級経営に活かせる手法などもご紹介しながら進めていきました。

ところで、「アイスブレイク」「イニシアティブ」というキーワードについて皆様、ご存知でしょうか。社会教育現場では、多く取り入れられるチームづくりの手法です。

今回参加された先生方に伺ったところ「アイスブレイク」については、1/3程度、「イニシアティブ」については、2~3人程度が知っているといった状況でした。比較的新人の先生方が多かったからでしょうか。学校現場の認識の薄さに驚きました。

1日の講座を終えて、先生方はどのような感想を聞いてみると「たった1日の活動だったとは思えない濃い時間を過ごせた」「初対面の先生方との距離感が体験後と全然違う」「活動のまとめで行った手法(ビーイング)は学級経営にも役立てることができる」といった声が挙がりました。

若手教員が急増する学校教育現場において、先生方の引き出しを多くすることで、生徒の学びが深まる機会が増え、より魅力ある学校づくりになると感じています。そして社会教育から学校教育へ活かせることは、まだまだあるという課題を実感した研修でもありました。

(文：谷慶子／けろっぴ)





10月

香草、キノコを使ったピザ焼き体験

葉草、香草やキノコを採って、お茶やピザにして味わおう♪
 【開催日】10月15日(日)
 【参加費】大人 4,000 円、小学生 3,500 円
 【会場】森林塾かすさの森(君津市)
 【連絡先】森林塾かすさの森
 TEL & FAX : 0439-35-2114
 E-mail : info-kfs@kazusanomori.com

サツマイモ掘り&キノコの観察会

里山でサツマイモを掘ったり、キノコを見つけよう!
 【開催日】10月21日(土)
 【対象】どなたでも(未就学児・小学生は親同伴必須)
 【参加費】大人 2,000 円、小学生 1,000 円、未就学児 無料
 【会場】上総自然学校(袖ヶ浦市)
 【連絡先】上総自然学校
 TEL : 0438-75-7414 FAX : 0438-75-7630

ハイキングと秋の植物観察

野鳥の森をハイキングしながら、秋の植物を観察しよう♪
 【開催日】10月21日(土)
 【対象】どなたでも(小学生以下のお子様は保護者同伴)
 【参加費】800 円
 【会場】館山野鳥の森(館山市)
 【連絡先】館山野鳥の森
 TEL : 0470-28-0166 FAX : 0470-28-0187

秋の里山お祭りキャンプ

かやぶき屋根の古民家に泊まって、地域の祭りに参加しよう!
 【開催日】10月21日(土)~22日(日)
 【対象】小学生
 【参加費】会員 15,000 円、一般 18,000 円
 【会場】古民家「ろくすけ」(南房総市)
 【連絡先】ハロートラベル千葉自然学校予約センター
 TEL : 043-224-1400
 E-mail : cns-camp@aroma.ocn.ne.jp

『古城址ハイキング』より久留里浅間山から 新旧久留里城

内田栄一氏の著書より「久留里浅間山から新旧久留里城」コースを内田氏の案内で歩きます。
 【開催日】10月25日(水)
 【対象】どなたでも(中学生以下のお子様は保護者同伴)
 【参加費】1人 1,500 円・4才~中学生 300 円、
 4才未満 100 円(森の宿「せせらぎ」宿泊の方参加費半額)
 【会場】内浦山県民の森(鴨川市)
 【連絡先】内浦山県民の森
 TEL : 04-7095-2821 FAX : 04-7095-2822

森のハロウィンキャンプ

仮装とオレンジカボチャでランタンを作って、ハロウィンパーティーを楽しもう★
 【開催日】10月28日(土)~29日(日)
 【対象】幼児(年中・年長)~小学生
 【参加費】会員 13,000 円、一般 16,000 円
 【会場】君津亀山少年自然の家
 【連絡先】ハロートラベル千葉自然学校予約センター
 TEL : 043-224-1400
 E-mail : cns-camp@aroma.ocn.ne.jp



11月

ピザ焼き体験

レンガ作りのピザ窯で、手作りピザに挑戦しよう!
 【開催日】11月11日(土)
 【対象】どなたでも(小学生以下のお子様は保護者同伴)
 【参加費】1,600 円
 【会場】館山野鳥の森(館山市)
 【連絡先】館山野鳥の森
 TEL : 0470-28-0166 FAX : 0470-28-0187

ワカサギ釣りキャンプ

エサや仕掛けは簡単につけられるので釣りが初めてでも大丈夫! レッツチャレンジ★フィッシング♪
 【開催日】11月18日(土)~19日(日)
 【対象】小学生
 【参加費】会員 15,000 円、一般 18,000 円
 【会場】君津亀山少年自然の家(君津市)、高滝湖(市原市)
 【連絡先】ハロートラベル千葉自然学校 予約センター
 TEL : 043-224-1400 E-mail : cns-camp@aroma.ocn.ne.jp

紅葉・新そば・ハイキング

親水公園~国有林眺海コース~もみの木庵にて昼食(新そば)~モミの木コース~大森林道~樹木見本林まで約9kmのハイキングです。やや健脚向き。
 【開催日】11月24日(金)
 【対象】どなたでも(中学生以下のお子様は保護者同伴)
 【参加費】1,800 円
 【会場】内浦山県民の森(鴨川市)
 【連絡先】内浦山県民の森
 TEL : 04-7095-2821 FAX : 04-7095-2822

里山で忘年会

谷津田のお米作り・山系イベント最終回!
 【開催日】11月25日(土)
 【参加費】大人 2,000 円、小学生 1,000 円、未就学児 無料
 【会場】上総自然学校(袖ヶ浦市)
 【連絡先】上総自然学校
 TEL : 0438-75-7414 FAX : 0438-75-7630

ホームステイ古民家に泊まろう! 晩秋編

のどかな里山で過ごす、のびのび“ろくすけ”時間。築180年の古民家に泊まりながら、果実や作物をとって食べることを通して、自然と生活のつながりを体で覚えていこう♪
 【開催日】11月25日(土)~26日(日)
 【対象】小学生~中学2年生
 【参加費】会員 13,800 円、一般 16,800 円
 【会場】古民家「ろくすけ」(南房総市)
 【連絡先】ハロートラベルヤックス自然学校予約センター
 TEL : 043-307-1211 E-mail : yacs-camp@aroma.ocn.ne.jp

日本一遅い紅葉狩り(1泊2日コース・2回開催)

晩秋の亀山渓谷では日本一遅い紅葉を楽しめます。紅葉の森で自然薯掘り、きのこ探し、森で取った薪で、ゆったり露天ヒノキ風呂につかりましょう♪
 【開催日】①11月25日(土)~26日(日)
 ②12月2日(土)~3日(日)
 【参加費】大人 9,000 円、子供 7,000 円
 【連絡先】森林塾かすさの森
 TEL & FAX : 0439-35-2114
 E-mail : info-kfs@kazusanomori.com



12月

二日間川から養老川の源流をゆく

天津の坂本地区～東大干葉演習林(本沢林道～大平(おおびら)歩道～一杯水林道)～国有林(会所・麻綿原コース)～もみの郷会所までのハイキングです。約14km。健脚向き。

- 【開催日】12月4日(月)
- 【対象】どなたでも(小学生以下のお子様は保護者同伴)
- 【参加費】1,400円
- 【会場】内浦山県民の森(鴨川市)
- 【連絡先】内浦山県民の森
- TEL: 04-7095-2821 FAX: 04-7095-2822

巣箱と餌台作り

かわいい野鳥にお家と餌台をプレゼントしよう♪

- 【開催日】12月9日(土)
- 【対象】どなたでも(小学生以下のお子様は保護者同伴)
- 【参加費】1,100円
- 【会場】館山野鳥の森(館山市)
- 【連絡先】館山野鳥の森
- TEL: 0470-28-0166 FAX: 0470-28-0187

クリスマスリース作り

40種以上の素材(木の実・リボン・オーナメント)の中から、あなたのチョイスで、自分好みのクリスマスリースやガーランドを作りましょう♪

- 【開催日】12月10日(日)
- 【対象】どなたでも(小学生以下のお子様は保護者同伴)
- 【参加費】1,300円
- 【会場】内浦山県民の森(鴨川市)
- 【連絡先】内浦山県民の森
- TEL: 04-7095-2821 FAX: 04-7095-2822

正月飾り作り

地元の正月飾り(しめ縄)とミ二門松を作ろう♪

- 【開催日】12月23日(土)
- 【対象】どなたでも(小学生以下のお子様は保護者同伴)
- 【参加費】1,800円
- 【会場】館山野鳥の森(館山市)
- 【連絡先】館山野鳥の森
- TEL: 0470-28-0166 FAX: 0470-28-0187

森でクリスマス

深い森に、本物のツリーの樹、モミを採りに行きましょう! 沢山のデコレーションで飾り、薪ストーブのある暖かい部屋では、森の数々の童話や昔話を聴いたり、クリスマスソングを歌い、プレゼント交換。夜は森の精霊に会いに行くナイトハイク…★

- 【開催日】12月23日(土)～24日(日)
- 【参加費】大人10,000円、子供7,000円
- 【連絡先】森林塾かずさの森
- TEL & FAX: 0439-35-2114
- E-mail: info-kfs@kazusanomori.com

スノーあそベンチャー～雪の秘密基地～

千葉を飛び出し、雪国で雪を満喫♪今年は雪の秘密基地をつくっちゃおう!

- 【開催日】12月23日(土)～25日(月)
- 【対象】小学生
- 【参加費】会員35,000円、一般38,000円
- 【会場】国立妙高青年自然の家(新潟県)
- 【連絡先】ハロートラベル千葉自然学校予約センター
- TEL: 043-224-1400
- E-mail: cns-camp@aroma.ocn.ne.jp



1月

究極の年越し

餅つき、お飾り作り、初日の出、かずさの森の霊樹に願掛け、新春七草粥など、大晦日&お正月行事でんご盛り体験!

- 【開催日】12月31日(日)～1月1日(月)
- 【参加費】大人9,000円、子供7,000円
- 【連絡先】森林塾かずさの森
- TEL & FAX: 0439-35-2114
- E-mail: info-kfs@kazusanomori.com

『房総のやまあるき』より香木原峠から安房高山

二軒屋バス停～鴨川市清掃センター～香木原峠～小町峰峠～柚の木林道～安房高山～国道410号線まで、房総分水嶺を歩く15km。やや健脚向き。

- 【開催日】1月11日(木)
- 【対象】どなたでも(小学生以下のお子様は保護者同伴)
- 【参加費】1,300円
- 【会場】内浦山県民の森(鴨川市)
- 【連絡先】内浦山県民の森
- TEL: 04-7095-2821 FAX: 04-7095-2822

野鳥観察会

日本野鳥の会会員とともに、野鳥の森園内や周辺の野鳥の観察会を行います♪

- 【開催日】1月13日(土)
- 【対象】どなたでも(小学生以下のお子様は保護者同伴)
- 【参加費】600円
- 【会場】館山野鳥の森(館山市)
- 【連絡先】館山野鳥の森
- TEL: 0470-28-0166 FAX: 0470-28-0187

夜の鴨川シーワールド探検

夜の水族館にお泊り♪子どもコースと親子コースがあります。

- 【開催日】1月27日(土)～28日(日)
- 【対象】①子どもコース:小学生
②親子コース:小学生以上の親子2名～
- 【参加費】①会員22,800円、一般25,800円
②会員:大人23,800円、子ども21,800円
一般:大人26,800円、子ども24,800円
- 【会場】鴨川シーワールド(鴨川市)
- 【連絡先】ハロートラベルヤックス自然学校予約センター
- TEL: 043-307-1211 E-mail: yacs-camp@aroma.ocn.ne.jp

通年親子イベント

千葉自然学校親子塾

親子で自然にふれ、生物・生命の不思議と繋がりを学びましょう♪ 講師:中村俊彦氏(元中央博物館副館長他)

- (1) 里山里海コース(自然と人間とのかかわりを学ぶ)
- 【開催日】⑤10月8日(日)
- 【参加費】各回ごと:親子2人1組 5,000円
※1人追加 1,000円、未就学児 無
- 【会場】千葉市若葉区谷当堂谷津・三番瀬
- 【協力】NPO法人バランス21・「わたしの田舎」谷当工房
- (2) 都市コース(街に息づく自然と生命を学ぶ)
- 【開催日】①10月14日(土)②11月18日(土)③12月9日(土)④1月27日(土)
- 【参加費】各回ごと:親子2人1組 5,000円
※1人追加 1,000円、未就学児 無料
- 【会場】東大小石川植物園、東大本郷キャンパス
- 【連絡先】NPO法人千葉自然学校
- TEL: 043-227-7103 FAX: 043-202-7237

★他にも楽しいイベントもりだくさん!

Webをチェック! 検索

●ろくすけ日和『平群で川あそび』

千葉自然学校では、築180年の古民家を管理しています。南房総市平久里という地域にあり、周りは里山。まるで昔話のような場所です。この家には屋号という昔からの愛称があり、皆から親しみを込めて「ろくすけ」と呼ばれています。シニア自然大学やヤックス自然学校のキャンプリーダーの力を借りて少しずつ整備を進めながら、子ども・大人のキャンプで活躍中です。時々テレビにも出ています！

夏休みも終盤に差し掛かった8月22日に平群ツーリズム主催のイベント「平久里の川であそび」を実施しました。当日は約30名の子どもから大人の方までたくさんの方にご参加頂きました。

午前中は平群天神社にて地元のお父さんの指導で竹の水鉄砲作りを行いました。水鉄砲は竹の太さや、中に入れる布の厚みで水の出方が異なるので、子どもはお父さん方の話を聞いて真剣な顔で微調整。その甲斐あって多くの子が上手に出来ていました。その後は自然と水鉄砲対決が始まり、子どもは全身ずぶぬれになっていましたが、そんなことお構いなしに楽しそうに水と戯れていました。

午後はライフジャケットを着て、網を持って平群の川でいざ生き物探し！平群天神社から歩いて行ける距離にある平久里川。ここが意外と生き物がたくさんいる場所なんです。

前日から地元の方が仕掛けてくれた罟には大きなモクズガニやハヤなどの魚が捕まり、子どもは自分の網で水際からエビやドジョウ、カエルなどを捕まえていました。

そしてせっかくライフジャケットを着ているので少し深い所で川流れ体験も行いました。普段見慣れている平久里川が遊べる環境ということを感じてもらえたようです。

地元のお父さん方は「俺らが小さいころはハヤがもっといて、ウナギやナマズも獲っていた。ずいぶんと生き物が少なくなった。それでも平群の川で子どもが楽しんで遊んでいる姿を見られるのは嬉しいな。」と感慨深げな表情でお話を聞かせてくれました。きっと一昔前は夏にはこの光景が当たり前だったのかなと思いました。

平群に子どもの笑い声を増やしたいという想いで活動している平群ツーリズム。この川遊びイベントが毎年の夏の風物詩となれば幸いです。

(文:かやぶき屋根の古民家ろくすけ住人 山崎大地/だいすけ)



●千葉シニア自然大学

「南房総・平久里のライトトラップ昆虫採集記」

「古民家ろくすけの会」活動の一環として、この5・6・7・8月の4回、シニア自然大学OB宮田明吉さんの指導でろくすけの敷地にライトトラップを仕掛け、周辺にいる昆虫を採取するという調査活動を行いました。ライトトラップとは強力な光を放つライト2本を設置し、白布に光を当てて昆虫を誘引する罟です。宮田さんは、夜を待つ間に周辺のクヌギやコナラなど樹液の出る樹木に集まる昆虫を採取しておられました。夜になると、ガ、カメムシ、ウンカ、カゲロウなど小さな昆虫が集まってくるのを丹念に同定しておられました。お馴染みの昆虫類が動き始める7月には、大型甲虫類の出現を期待しましたが、トラップにはかかってきませんでした。

ろくすけのお隣の住人、原さん曰く。「昭和の30年代まではこの地方では多くの農家が牛を飼っていたので、道の傍に捨てられていた牛糞にカブトムシが幼虫を生み、たくさんのカブトムシがいたよ。牛を飼わなくなり、又、猪が出るようになって、カブトムシの棲息環境が悪くなったのだろう。今では見かけなくなってしまった。」と。もう棲息していないのではとの想いを抱え当日を迎えました。

8月13日はろくすけでお泊まり体験をする子どもにライトトラップを見せる日です。子どもが喜ぶ昆虫がやってくるのだろうか？仕掛ける場所をろくすけ裏の大豆畑の奥に変えて夜を待ちました。



19時前。日没。周辺が暗くなってきます。山崎大地さんも仕事から戻り合流。子どもに見せる体制は整い、昆虫の出番を待ちました。小型のクロアゲハにそっくりの蛾、その名もアゲハモドキが先ず姿を見せました。次にトンボに似た蛾・ツノトンボがトラップの網目に吸い寄せられます。

宮田昆虫博士の口が次第に滑らかになって、子どもを昆虫ワールドに誘ってくれます。真打のカブトムシは意外な所から出現しました。観察していた子どもの背中に止まっていたのです。歓声！！

突然、「ヤママユだ！」と宮田さんの興奮した声が響きました。「非常に珍しい蛾が来たよ！」と興奮を隠そうともされない。いやがうえにも盛り上がります。あとはわいわいガヤガヤ…。ざっとこんな風に1時間の観察会は続きました。

(文・写真:浅井信)

みんなのおおきな食卓

～遠藤さんの郷土料理のお話～

道の駅には収穫したばかりの野菜・果物や花が並べられて、どれもキラキラと輝いています。野菜に混ざって、時に「これは！」と思う珍しい作物に出会うことがあります。豆落花生、小糸在来の大豆、鴨川七里大豆、加茂菜、大浦ごぼうなど、今では一般には出回りにくくなっている地域限定の作物です。

加茂菜は、市原市加茂地区の高滝神社付近で作られ、寒さに強く霜が降りても青々と育ち3月中下旬に収穫されたものが一番おいしいそうです。漬物にすると茎に独特の風味とまろやかな甘みがあり、間引き菜は正月の雑煮に入れられたそうです。

小糸在来種の豆は、一時栽培が減り”幻の大豆・枝豆”になっていましたが、平成16年ごろから愛好家クラブにより栽培され、最近ではJA君津市をはじめ関係機関が連携して保全活動を行っています。芳醇な香り、うまみと甘みを持ち、枝豆としてもきな粉やみそ用大豆としても利用されるようになっていきます。

これらの作物は、長い間その地域で育てられ食べられてきて、地域ならではの栽培の文化、食の文化を持っています。

千葉県立中央博物館では「おばあちゃんの畑プロジェクト」として、房総丘陵の在来種の野菜などの種を育て、栽培、加工技術の保全をされています。県内にはまだまだ隠れた在来種が残されていることでしょう、これらの種子を失うことなく地域の文化として伝えることができればいいと思っています。

◎豆落花生が手に入ったら作って食べ比べしてみてください◎

【落花生みそ】

生落花生（豆落花生、落花生）	200g
みそ	60g
砂糖	60g
みりん	大さじ1
油	大さじ1



(文：遠藤陽子／サニー)

松田料理長のおすすめレシピ～ろくすけ餅～

食堂部門では、今年度から新たに“郷土料理や郷土食材を使った給食料理”について取り組んでいます。そこでろくすけ餅をつかった料理が完成しましたが、それまでにはいろいろな試行錯誤がありました。

まず給食の条件としては、生食は扱わず、なるべく熱の入ったものを使うということが必須になります。そのため、何かしら加熱調理する必要があります。

次にコストの問題が生じます。南房総の食材は、鮑・栄螺・房州海老・枇杷と高級であり、郷土料理のサンガ焼きなども高価です。

また、郷土料理とは昔からいろいろな人が研究して一番おいしいと考え付いたもので、それを更にアレンジするのは難しいと考えました。

その時、千葉自然学校のろくすけで作っている性学餅（ろくすけ餅）という食材に出会いました。

ろくすけ餅は、うるち米を蒸してこねたもので、癖もなく味付けがしやすいので、様々な工夫ができると考えました。

大房食堂では、子どもの利用が多いため、子どもが好む味付けを考えなければなりません。

シンプルにあんこや蜜をかけての甘味は大変に美味しいのですが、これはおかずにはなりません。

野菜と炒めてみると、崩れてしまいました。しかし、ボイルしたときに、煮崩れもせず柔らかく美味しいことがわかりました。



次に子どもの好む味付けとして、カレーを使うことを思いつきました。カレーパウダーを入れたお湯でボイルして下味をつけ、青梗菜をコンソメ・塩・胡椒・バター・カレーパウダーの味付けで炒めたものと、ろくすけ餅を合わせ、ろくすけ餅を使った料理が完成しました。

ろくすけ餅は、もとは米なのでカレーとも相性が抜群で美味しい仕上がりになり、今年度から提供しています。

ろくすけ餅は、コメの本来の旨味を出していて、様々な料理に合いやすいので、皆様も是非お試しください。

(文：松田光央)

●団体会員（34団体）

NPO 法人大山千枚田保存会、岩井民宿組合、ヤックス自然学校、(株)ちば南房総、千倉オレンジセンター、NPO 法人たてやま・海辺の鑑定団、「わたしの田舎」谷当工房、NPO 法人佐倉みどりネット、森林塾かずさの森、(一財)千葉県観光公社、上総自然学校、NPO 法人安房文化遺産フォーラム、(株)かずさアカデミアパーク、食と農の体験工房「よもぎ館」、千倉民宿組合、ぬく森くらぶ、自然の宿「くすの木」、リゾートイン白浜、Live Stock(ライブストック)、さんむアクションミュージアム、市津・ちはら台自然楽校、NPO 法人里山会(勝浦エンゼルアドベンチャーランド)、千葉伝統郷土料理研究会、ひらつか地域活性化協議会、ピーちゃんクラブ、NPO 法人ちば里山センター、ELFIN 体験共育くらぶ、NPO 法人千葉・草原のこころファーム、(一社)森のようちえんはっぴー、環南みんなの楽校、(一財)千葉県環境財団、(有)銚子海洋研究所、東京クラシッククラブ、ワイズスノー&アウトドアスクール

●賛助会員（6団体）

館山日東バス株式会社、(財)ちば国際コンベンションビューロー、株式会社富楽里とみやま、株式会社HMC 東京 旅行事業部、スコープジャパン株式会社、林造園土木株式会社

指定管理施設

現在、県内にある3ヶ所の施設を指定管理者として管理・運営しています。

- ・南房総市大房岬自然の家 (千葉県の施設として平成17年9月～平成20年3月)
(南房総市の施設として平成20年4月～)
- ・千葉県立大房岬自然公園 (平成18年4月～)
- ・千葉県立君津亀山少年自然の家 (平成20年4月～)



千葉県立大房岬自然公園



南房総市大房岬自然の家



千葉県立君津亀山少年自然の家

運営施設

- ・かやぶき屋根の古民家「ろくすけ」(平成16年5月～)
- ・千葉県立中央博物館ミュージアムショップ(平成26年4月～)

千葉自然学校のミッション

体験活動を通じ

- ・だれもが人生を豊かに生き、支え合う力を育む
- ・地域の資源を保全・活用し、次代に引き継ぐ
- ・ネットワークを充実し、地域の活性化をめざす



千葉県内における自然体験活動団体をつなぐネットワーク型の自然学校として、平成15年より活動を行っています。自然体験を通して、千葉県の里山・里海の保全と地域の活性化を目指しています。

また、ネットワーク会員との連携を強化し、県内全域で幅広い世代を対象とした自然体験活動を実施しています。

■今年も、8月初旬に出羽三山へ修行に行ってきました。三山の表玄関、鶴岡駅に降り立った時の暑さは、とても東北に来ているとは思えないほど半端ではありません。宿坊、月山、羽黒山そして湯殿山での朝晩の修行は、これまで何十回と経験して来ましたが、何時も新鮮な感覚で不思議と心が軽くなります。三山に参詣している人たちの穏やかな顔が、全てを語っています。(オーシャン)

■この秋は、からすうりの白い花が目立ちます。花言葉は「よい便り」。どんな便りが来るか楽しみです。(サニー)

■パツとしない天気が続きましたが、スキーシーズンに向けてトレーニング開始!(ボクサー)

■自然物を使い物を作る先人の知恵は、残すのではなく伝承しなければ技術は廃れる。(べったん)

■「暑い暑い夏 終わってみれば 寂しいね」一年サイクルがあつという間に感じられます。(たこはち)

■ここ数年、日本の四季に異常を感じます。「季節らしさ」を感じることができなくなるためには…。深く掘り下げ日常に繋げる努力が必要だと感じます。(けろっぴ)

■暑い夏が終わり、秋の風が吹き始めました。まもなく大好きな冬がやってきます♪(かつを)

■この夏、キャンプで延べ750名の子どもとキャンプ。様々な表情に出会え、やりがいのある活動です。(のりべん)

■空模様が安定しない2017年ですが、いろんな秋を満喫しましょう。(らうす)

■食も自然も色づく秋。そうして私も色男に…。熟せよ自分!(さぼてん)

《編集後記》

お世話になった神社でひとつの節目。気持ち新たに★(かみい)

認定NPO法人を目指して～ご寄付お願い～
寄付金額が3,000円以上である寄付者様を募集しています。当法人の活動にご理解、ご支援いただける方はぜひご支援ください。

▼振込先(郵便局)▼

【郵便振替口座番号】00170-5-259431

【加入者名】特定非営利活動法人 千葉自然学校

▼振込先(銀行)▼

千葉銀行 千葉駅前支店 普通 3740275

特定非営利活動法人 千葉自然学校

【寄付金額】3,000円より

※領収書を発行いたしますので、お名前、ご住所、ご連絡先を必ずご記入ください。

発行： NPO法人 千葉自然学校

千葉自然学校ニュースレター(年4回発行)

■千葉事務所 〒260-0015 千葉市中央区富士見 2-3-1 塚本大千葉ビル 7階

電話：043-227-7103/FAX：043-202-7237

ホームページ：http://www.chiba-ns.net メールアドレス：info@chiba-ns.net

